

# シュアフォームプロテクト

食品工業用液体塩素系アルカリ性洗浄剤(軽金属対応、シリカを含まない)

**塩素系**

シュアフォームプロテクトは、食品製造機器類の外表面洗浄用に開発された次亜塩素酸塩配合の液体アルカリ性洗浄剤です。

シュアフォームプロテクトは、被洗浄表面に対する保持力が高く、加工食品、飲料及び乳業工場での洗浄に適します。

## 特 性

シュアフォームプロテクトは、腐食抑制剤、分散剤、高発泡性の界面活性剤及び次亜塩素酸塩を配合したユニークな洗浄剤です。シリカを含まない特殊な配合でアルミニウムのような軽金属の腐食を抑制します。シリカが配合された発泡洗浄剤に見られる除去が困難なケイ酸フィルムの沈積はありません。

シュアフォームプロテクトには、新しい「保持性向上」のための技術が使われています。ご使用の際、水で希釈して吹付けることにより、“チクソトロピック性”のマイクロフォーム(薄膜)が形成され、被洗浄表面への付着性が向上します。接触時間が増加するため、頑固な汚れにも深く浸透します。優れたすすぎ性を有し、少量の水で被洗浄表面を容易に洗い流せます。

シュアフォームプロテクトは次亜塩素酸塩の酸化作用により、食肉処理場、家禽、魚、野菜等の加工工場の頑固な汚れの洗浄に適します。

シュアフォームプロテクトによるチクソトロピック性マイクロフォーム(薄膜)の形成には、専用の吹付け装置を使用すると効果的です。

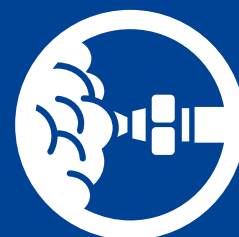
## 特 長(メリット)

- 蛋白質、油脂を含む食品汚れに優れた洗浄除去効果を示します。また、次亜塩素酸塩の酸化作用により漂白効果があります。
- 軽金属類に使用できます。
- チクソマイクロフォーム(薄膜)により、被洗浄表面に今までにない長い接触時間を実現します。
- 洗浄と同時に除菌効果を示します。
- 洗浄後のすすぎが容易にできます。

## 材質への適合性

シュアフォームプロテクトは、推奨する条件で使用する場合、加工食品業界で使用されているアルミニウム等の軽金属からなる一般の機器に対しても使用できます。材質が不明確な場合は、事前に個々の材質に対する確認を行って下さい。

**VE8L**



# シュアフォームプロテクト

食品工業用液体塩素系アルカリ性洗浄剤(軽金属対応、シリカを含まない)

## 使用方法

3～5v/v%水溶液を調製して専用の装置を用いて吹き付け、約5分間放置して洗浄を行い、その後水で十分にすすぎを行って下さい。

## 技術データ

外 観	淡黄色透明液体
pH (1%、25℃)	11.0～12.0
比 重 (25℃)	1.09～1.11
CODMn (0.1%)	20ppm

上述のデータは、標準的な製品の代表値です。

## 取り扱い方法と保管方法

本品は、水酸化カリウム3%含有するアルカリ性洗浄剤です。接触したり飲み込んだりすると、皮膚や粘膜を激しく侵し、目に入ると失明する危険があります。又、酸性製品と混合すると有毒な塩素ガスが発生して危険です。下記の注意事項を守ってご使用下さい。

- ・作業時は必ず保護メガネ、保護マスクおよびゴム手袋、ゴム長靴を着用して下さい。
- ・特有の臭気を有しているため、作業中の換気に注意する。
- ・使用時は洗浄剤が飛散しないように丁寧に扱う。
- ・本品の取り扱い後は顔や手を必ず良く洗って下さい。
- ・使用後は必ず水道水で十分に水洗いする。
- ・キャップを開けるときに液が飛び出すことがある。また、容器を移動するときはキャップをしっかりと閉める。緩んでいると液が跳ねて目や皮膚に付くことがある。
- ・用途以外に使用しないで下さい。 ・他の薬剤、洗浄剤などとは絶対に混ぜない。
- ・誤飲等事故の恐れがあるので、飲料用の容器を含む他の容器に移し替えたり小分けしない。
- ・使い終わった容器は、よく洗ってから処理する。 ・倒したり、こぼしたりしないように注意する。
- ・排水は残留塩素・アルカリの順で中和処理する。 ・直射日光・高温多湿な場所を避けて密閉して保管する。
- ・酸性物質と同じ場所に保管しない。 ・子供の手の届かないところに保管する。

必ず使用前に製品安全データシートおよび製品ラベルをお読み下さい。

## 濃度測定方法

試 薬 0.1NH<sub>2</sub>SO<sub>4</sub> 標準溶液、フェノールフタレイン指示薬

0.05N チオ硫酸ナトリウム、20%ヨウ化カリウム、50%酢酸、でん粉指示薬

手 順 1)有効塩素の測定(塩素中和量として)：

コニカルビーカーに検液を10mL採取し、20%ヨウ化カリウム20mL、50%酢酸溶液5mLを加え、攪拌後暗所に5分間放置します。そして0.05Nチオ硫酸ナトリウム溶液で滴定し、溶液の色が茶色から薄黄色になった時に、でん粉指示薬1mLを加え、滴定を続け呈色した青紫色が消えた点を塩素中和量とします。

$$\text{有効塩素(\%)} = \text{試薬滴下量(mL)} \times 0.0177 \times \text{試薬ファクター}$$

2)シュアフォームプロテクト濃度測定：

検液10mLをビーカーに採取し、予め塩素中和量分の0.05Nチオ硫酸ナトリウム溶液を入れ、よく混ぜます。そしてフェノールフタレイン指示薬を加え、0.1NH<sub>2</sub>SO<sub>4</sub>標準溶液で滴定します。溶液が赤色から無色になった時点が終点です。

算 出 シュアフォームプロテクトの濃度(v/v%)= 試薬滴下量(mL) × 2.20 × 試薬ファクター

荷 姿 22kg ポリ缶

## シーバイエス株式会社

●本社 / 〒231-0023 横浜市中区山下町22番地(山下町SSKビル)  
お客様ご相談窓口 TEL.045-640-2280 FAX.045-640-2216

■お問い合わせ・ご用命は…

大切な場所には、きっと。

